



## 歓迎來到矢板（ようこそ矢板市へ） 台湾からの訪日ツアーが立ち寄り

1月15～18日、海外プロモーション事業として、森島市長が台湾を訪れ、トップセールスを行いました。早速、1月中に訪日ツアー観光客が里山いちご園に立ち寄るなど成果が出始め、市内の観光農園や城の湯やすらぎの里などの市内宿泊施設には、複数の予約が入っています。今後も市内産品の販路拡大や誘客などで市内経済の国際化を図ります。



▲イチゴ狩りに訪れた観光客の皆さん



▲台湾での商談の様子



▲台湾での市内産品 PR の様子



▲訪日ツアーを出迎える森島市長

## 6月に道の駅やいたでサクランボが買えちゃう!? 矢板と寒河江の道の駅が連携協定を締結

1月24日市役所で、(株)やいた未来と(株)チェリーランドさがえによる協定締結式が行われました。協定により、梅雨で野菜の出荷の減る6月に、矢板でサクランボなど寒河江の特産品のフェアを開催し、冬期に寒河江で矢板市特産のイチゴやリンゴを即売する予定です。協定を記念して、翌25日には道の駅やいたで山形物産市が開催され、多くの人でにぎわいました。

株式会社やいた未来・株式会社チェリーランドさがえ  
農業振興及び観光振興に関する連携協定締結式



▲(左から)(株)やいた未来 森島社長、(株)チェリーランドさがえ 本間社長



## 雇用と経済の課題解決に強力なパートナー アデコ(株)と県内初の包括連携協定を締結

2月10日市役所で、アデコ(株)との包括連携協定締結式が行われました。これは、地域の雇用創出や人材育成を目的としたもので、市内企業の採用力強化やDX推進支援などが含まれます。矢板市出身の平野 健二社長は「全国的に働き手不足が大きな問題となっている。私たちが有している世界規模でのノウハウを生かし、地元・矢板の企業様のお力になれば」と話しました。



▲(左から) アデコ(株) 平野社長、森島市長

## 「文化財防火デー」に防火訓練実施 消防署・消防団・地域の連携強化

1月26日、荒井家住宅や木幡神社など市内文化施設で矢板消防署や市消防団が参加し、設備点検や通報・放水訓練などが行われました。これは文化財を火災から守るとともに、市民の文化財愛護意識を高めるため、「文化財防火デー」に合わせて実施しているものです。参加した消防団員は「文化財は地域の宝。地域が協力して未来に継承していきたい」と話しました。



▲荒井家住宅での放水訓練

## 八方ヶ原一面の雪景色 幻想的な雪まつり「雪月火」開催

2月8日山の駅たかはらで、1日限りの雪まつりが開催されました。これは「雪」で作るかまくら・夜空の「月」・キャンドルの「火」で幻想的な景色を作り出すイベントで、こんこんと雪が降る中、かまくら作りや雪遊びを楽しみました。参加者は「点灯後の景色がとてもきれいだった。雪がたくさん積もったので、大きなかまくらも作ることができて楽しかった」と話しました。



**うちの子ども 結婚できました!**

独身のお子様の結婚相談

あきらめないで! まずはお気軽にお悩みご連絡くださいませ。

結婚相談所ムスベル宇都宮 ☎ 028-611-3545

**野菜の特売市** 4/9(水) 11:00~

10個100円のお野菜バイキング!! なくなり次第終了

大好評!! つむぎ屋市

20名様限定!! 4/26(土) 10:00~

生花教室

家族葬専用式場つむぎ矢板 鹿島町 483-1 ☎ 0120-33-8871



## 矢板中央高サッカー部、県新人戦を連覇 新たな世代が先輩越えの高みを目指す

2月2日グリーンスタジアムで、県高校サッカー新人大会決勝が行われ、中央高が真岡高を2-1で下し、見事2連覇を達成しました。新体制となり間もない中でもしっかりと結果を残した選手たち。それでも、選手たちには試合内容に反省する様子が色濃くあり、より高みを目指す姿がうかがえました。新しい世代も市を挙げて応援していきましょう。



## 祝・関東大会第3位！ 矢板中央高女子バスケ部、大躍進

1月に行われた県予選で見事優勝した矢板中央高女子バスケ部は、2月1～2日に開催された第35回関東高校バスケットボール新人大会に出場しました。高さを生かした試合運びで強豪校を次々と破り、準決勝に初進出。八雲学園（東京）に70-88で敗れましたが、成長と課題を再確認できたと話す長田監督。経験値を力に変え、次は夏のタイトルを目指します。



## 市立図書館の人気コーナー 大田原信用金庫寄贈「だいしん文庫」

今年も大田原信用金庫様より、児童図書購入のため20万円の寄附をいただきました。これは、子どもたちの教育の一助になればと平成20年から毎年いただいているもので、今年で17回目。購入した図書は市立図書館で親しまれているほか、だいしんパックとして、市立小中学校に巡回で貸し出されるなど、子どもたちの読書活動を支えています。



▲（左から）森島市長、大田原信用金庫 駒場理事長



@泉小学校



@矢板中学校

## 「自分を信じて進んでほしい」 とちぎ未来「夢」大使・原 博実さん講演会

2月4日片岡中学校で、選手・監督として日本サッカー界をけん引してきた原 博実さんを講師に招き、「とちぎ未来大使『夢』講座」が開催されました。原さんは、学生時代やサッカー生活の経験談を交えながら、「人と比べないこと、好きなことを見つけることの大切さ」を伝えました。生徒は「学校では聞けない貴重な話が聞けた。自分の夢をつかむために行動したい」と話しました。



## 見識を広めつつ、自身を磨く 高校生3人が留学の実体験を発表

2月1日文化スポーツ複合施設で、「留学のすすめ」が開催されました。留学経験のある高校生3人が登壇し、それぞれの実体験を話してくれました。会場には約70人が参加し、発表に大きくうなずいたり、驚く姿が見られ、大人にとっても若者から刺激を受ける機会となりました。参加した同世代からは「私も留学に行きたくなった」という声が聞かれました。



Instagram



矢板東高校1年  
辻岡 千宙さん（オーストラリア）

やりたいことには必ずトライ！

コロナ禍に左右された附属中学時代から高校へと内部進学するときに「このままでいいのか」と違和感を抱きました。「どこかに行ってしまいたい」と感じた時、小学生の時の海外ホームステイが楽しかったことを思い出しました。「友だちが被害に遭った森林火災から野生動物と人を守りたい」そんな想いから文科省の留学プログラムで、オーストラリアに留学することを決定。留学を通して、自分で動かないと何も変わらないことに気づき、「やらない理由を挙げる天才」だった私が、やりたいことに素直に楽しく笑顔で挑戦できるようになったと思います。



矢板東高校1年  
河越 瀬成 ノエルさん（ドイツ）

一歩を踏み出す勇氣

昨年8月から4月までの期間で現在日本に留学中です。日本のアニメが大好きで、日本語は日本人の母とドラえもんやウルトラマンから教わりました。日本に住むことが夢でしたが、ためらう気持ちもあった頃、「何かをやって後悔するのと、何もしないで後悔するのはどちらがいいですか」という言葉に出会い留学を決心しました。自分の居心地の良い場所を離れ異国に飛び込むことは勇気のいることですが、今では受け入れてくれる仲間や友達ができ、日本を離れることを考えると寂しい気持ちになります。後悔のない留学生活を送ることを目標に日々挑戦しています。



矢板東高校2年  
和久 真由子さん（カナダ）

自身と向き合い変化と自信が

留学前は、ビビりで心配性でした。留学では外国の文化や人々に触れ、新たな価値観を得るとともに、チャレンジ精神もアップしたと感じます。留学中はフリーな時間も多く、自分自身のことを考えることが多くなりました。おかげで自分の明確な目標もでき、今までの環境のありがたみを感じることができました。自分でも成長を感じていますが、周りの人に「変わったね」と言われることが多く、留学してよかったなと実感しています。今回の企画も自分の留学体験を話すことで留学の振り返りにもなり、自分自身の留学経験を総括でき、自信を深めるきっかけになりました。



キッズ、K-POP、ジャズ 令和7年度新規会員募集！！

# アクティブスクール矢板 ダンス教室

矢板セントラルスポーツクラブ  
☎ 0287-47-5612



↑ Instagram

